

就職活動について(理論研・M2)

就職活動で皆さんにぜひ気をつけてほしいことがある。

・就活本に惑わされるな!

就活本は大量に出ているが、本ごとに言っていることが違うので鵜呑みにしてはいけない。最後は自分の良識に従おう。

・就職活動は「実力」より「やり方」

選考の過程で、自分の持ち味や実力を出し切れずに失敗に終わり、絶望することもある。しかし、企業側にしてみれば「実力が出せない=実力がない」ということなのである。この世は悲しいかな実力者は必ずしも評価されず、うまく立ち回った者が優遇されるのだ。だから選考に落ちたからといってダメ人間というわけではない。単に見せ方の問題なのだ。そんな不公平な世の中でどう生きていくか・・・それを考えるのが就職活動なのだ(?)。

・ブラック企業に注意 !!!!!

世の中には、何も知らない学生を大量採用しては使い捨てる危険な企業が存在する。また実際は派遣会社なのに、説明会ではそれをあらわに言わない会社もある。そんな「ブラック企業」に引っかからないよう十分気をつけよう。会社の評判や離職率などを、ネットや就職四季報などで調べておこう。実情を知るには、社員(人事や採用担当以外の人が良い)に直接話を聞くのが一番よいが。

実践的なことについて

就職活動に当たっては「軸」が必要とよく言われる。それが無い人、やりたいことが無い人はとにかく説明会に参加しまくることを勧める。自己分析とかは説明会と同時並行で進めよう。あれこれ話を聞いているうちに発見があるかもしれない。

就職活動の悩みのひとつは説明会がすぐ満席になってしまうことである。しかしあきらめるのは早い。開催直前になるとドタキャンが相次ぐのでギリギリまで粘ると良い。それでも予約できなかった、しかしどうしても行きたい、という場合は予約なしで押しかけてしまおう。係の人に事情を話して頼めば入れてくれることがある。それで断られたら仕方が無いが、とにかくあれこれやってみよう。

説明会を最大限活用する良い方法がある。説明会終了直後は、社員の人たちがその辺をうろうろしているので、捕まえて話を聞きまわろう。やり方だけでOB・OG訪問と同程度の効果が得られる。また現場を見せてもらえたり、OB・OGを紹介してもらえるなどのチャンスにつながることもある。説明会は終わってから勝負である。すぐに帰ってはもったいない。

あとは体調に気をつけて、ぜひハッピーな結果を！